

# 雪ごぜん

育成期間：2001年 ▶ 2014年

「雪ごぜん」は2016年度に品種登録された、外食・中食向けの多収品種です。穂ばらみ期耐冷性にも優れるため、低コストで安定的な生産が期待できます。炊飯米は白く見栄えが良いことが特徴で、白飯のほか酢飯、炊き込みごはん、丼ものなど幅広い用途に適性があります。

## 品種の特徴

- 収量性が高く玄米品質に優れます
- 穂ばらみ期耐冷性に優れます
- 精白米中のタンパク質含量が低く、食味は「きらら397」並みです
- 北海道内で広く栽培可能です

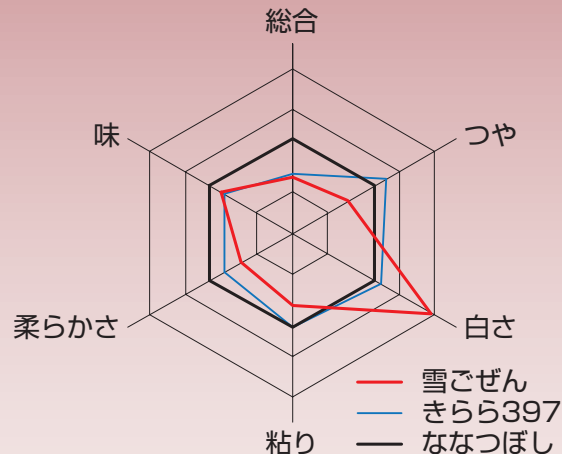


耐冷性に優れ多収の外食・中食向け水稻品種

# 雪ごぜん

家庭での米の消費量が減少する中で、外食・中食産業における米の消費が増加しています。このため、低コスト生産が可能で高い収量性を持ち、食味・品質が一定のレベル以上の米に実需者から非常に高いニーズがありました。そこで、耐冷性が強く安定した生産が可能な多収かつ炊飯米の見栄えの良い外食・中食に適する水稻品種「雪ごぜん」を育成しました。

## 「雪ごぜん」の食味



### 品種の特徴

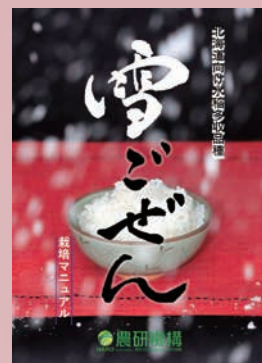
- 収量性が高く、育成地(札幌)では「きらら397」より15%程度多収です。
- 穂ばらみ期耐冷性は“強”で「きらら397」より優れています。
- 精白米中のタンパク質含量が低く、食味は「きらら397」並みです。
- 玄米品質に優れ、炊飯米の白さが際立っています。



### 栽培上の注意

- いもち病抵抗性は十分でないので適正な防除に努めてください。
- 耐倒伏性は強くないので、極端な多肥栽培は避けてください。
- 「雪ごぜん」に適した栽培方法をマニュアルにまとめています。初めて栽培される方は参考にしてください。

「雪ごぜん」栽培マニュアル▶



◀ 種子の入手方法について (農研機構ウェブサイト内)

[https://www.naro.affrc.go.jp/collab/breed/seeds\\_list/index.html?雪ごぜん](https://www.naro.affrc.go.jp/collab/breed/seeds_list/index.html?雪ごぜん)

[https://www.naro.affrc.go.jp/publicity\\_report/publication/pamphlet/tech-pamph/130317.html](https://www.naro.affrc.go.jp/publicity_report/publication/pamphlet/tech-pamph/130317.html)

## 「雪ごぜん」の主な特性(札幌市/移植栽培: 2007~13年)

栽培条件	品種名	出穂期(月日)	成熟期(月日)	稈長(cm)	穂長(cm)	穂数(本/㎡)	一穂粒数
	雪ごぜん	7.31	9.17	75	17.0	585	56.6
移植(中苗)	きらら397	7.30	9.15	65	15.8	590	51.5
	ななつぼし	7.30	9.14	73	17.0	528	59.4

栽培条件	品種名	玄米重(標準比)(kg/10a(%))	千粒重(g)	穂ばらみ期耐冷性	いもち病抵抗性		アミロース含有率(%)	タンパク質含有率(%)
					葉いもち	穂いもち		
	雪ごぜん	629(116)	22.8	強	やや弱	中	22.1	5.6
移植(中苗)	きらら397	541(100)	22.4	中	やや弱	中	19.9	6.7
	ななつぼし	585(108)	21.8	やや強	やや弱	やや弱	19.3	6.2